

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策I-1-1
企業の競争力強化

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

産業振興課長 馬庭正人

電話番号

0852-22-5291

事務事業の名称	特殊鋼産業クラスター高度化推進事業	
目的	(1) 対象	安来市・松江市を中心に集積する特殊鋼関連産業
	(2) 意図	高度な技術力の習得や販路開拓により成長分野に参入する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 安来市の特殊鋼を中心とした鉄鋼業は、本県のものづくり産業において、とりわけ付加価値額ベースで大きなウェイトを占め、代表的な産業集積地を形成。 一方で、急速な円高等の経済環境の悪化や新興国の台頭により、国際競争力の低下が危惧されているところ。 平成23年度、「島根特殊鋼関連産業振興協議会」を設置し、特殊鋼関連産業のクラスター強化を図るため、今後成長が見込まれる航空機・エネルギー産業を中心とした成長分野への参入や産業人材育成・確保に向けて参画企業や関係団体がベクトルを合わせて取り組みを行っている。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	成長分野への参入を目指した新たな取り組みへの助成件数	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	件
	式・定義	特殊鋼産業成長分野進出促進助成金及び発展型試作開発助成金(特殊鋼関連のみ)の採択件数	取組目標値					
			実績値	6.0				%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					%
			達成率	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	45,764	50,600
うち一般財源(千円)	45,764	50,600

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○特殊鋼産業成長分野進出促進助成金の活用により17件の研究開発事業が実施。
 ○同協議会「航空機ワーキング」を設置しそのなかの中小企業により航空機産業を目指すグループ「SUSANOO」が発足し航空産業展への出展やマーケティング活動等に取り組んでいる。
 ○特殊鋼関連産業振興協議会における実績 ※括弧書きの数値は「航空機・エネルギー分」
 【売上高(億円)】 H23.3: 1,247 (98) → H28.3: 1,236 (120) 【雇用者数(人)】 H23.3: 3,803 (214) → H28.3: 3,691 (397)
 ○航空機特有の国際認証(JISQ9100)取得件数 H23.4 1社 → H28.4 5社

6. 成果があったこと(改善されたこと)

【成長分野への参入】
 ○中小企業グループ「SUSANOO」の組織基盤強化を支援しH27.4より共同営業体制を構築し営業活動が開始。具体的な案件開拓が進み、少しずつ受注実績を積み重ねている。特に関係構築を図った素材メーカーとの口座開設が相次ぐ等素材を強みとするSUSANOOの特徴が現れてきた。またH28より外部アドバイザーを活用し外部からの情報収集やメーカー等との接点構築し、JAXAからの試作受注などに繋がっている。
 【産業人材育成・確保】
 ○特殊鋼生産、加工に関わり深い技術である「非破壊検査工程」強化による品質保証力向上を目指しH26より非破壊検査技術講座を開始し受講者のなかから初の資格取得者が出た
 ○特殊鋼加工技術者の育成・確保に向け、松江工業高等専門学校において授業への企業人の参画や工場見学会の場を設けるなど同校機械工学科において「特殊鋼」をテーマとする特別授業等が定番化。特殊鋼産業や企業の認知度向上に繋がるとともに、企業側も求人を活発化しており雇用拡大が期待される。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 【成長分野への参入】
 航空機産業は、今後世界的な成長が見込まれる市場であり、一旦参入するとライフサイクルの長い産業の性格上、長期間に及び受注が見込まれる一方で、これまで経験のない企業単独では容易ではない現実がある。

②困っている状況が発生している「原因」
 【成長分野への参入】
 航空機産業への参入は、航空機の安全性の観点から技術的・品質的要求が高いことや同業界の閉鎖的な側面もあり、また、参入時には巨額の投資が必要とされていることから容易ではない。

③原因を解消するための「課題」
 【成長分野への参入】 航空機産業特有の品質マネジメント強化や各社の特殊鋼加工等技術力の向上による競争力強化と、航空機関連メーカー等との接点構築による具体的なニーズ獲得が課題。また「SUSANOO」グループとしてはメーカーの多工程発注ニーズに対応すべく一貫生産体制の構築や他地域企業との連携関係の構築も課題。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

【成長分野への参入】
 ・航空機産業参入に向けた企業リスクを低減するためにも産学官一体となったクラスターの取り組みや中国エリア等の企業との連携関係を促進する。「SUSANOO」を中心とした特殊鋼関連企業の新たな事業構築については、航空機関連メーカーとの関係構築を図り具体的なニーズ情報の獲得し提案できる機会を創出することが必要である。そのため、航空機産業に精通した専門家による継続的な指導体制を構築し情報発信、集約機能を高めるとともに展示会や商談会等の案件開拓機会を拡大する。
 ・協議会企業で組織する航空機ワーキンググループの活動を強化し現場レベルでの情報流通を促進し新事業や人材育成など相互の気付きの場を創出する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)